

事業名: 能登半島の先端にレジリエントな「知」と「共創」のSDGsプラットフォームづくり | 提案者名: 珠洲市

取組内容の概要

<事業イメージ>

**経済**



課題…人とモノの流れの停滞による地場産業の衰退

- 里山里海の資源を活用するビジネス事業の支援拡大
- 「最果て」テーマの先端アート(国際芸術祭)によるインバウンド観光誘客と教育活用
- FAO 世界農業遺産をテーマとした持続可能な地域経済の研究と国際会議の企画開催

経済面の相乗効果②  
地域イノベーションにより新たな里山里海の資源活用

環境面の相乗効果①  
自然環境と地域経済をつなげる新たなモデルの構築

経済面の相乗効果①  
新事業の拡大による移住・Uターン、関係人口の増加

社会面の相乗効果①  
課題解決型人材によるソーシャルビジネス拡大

**能登SDGsラボ(仮)**  
○ 多様なステークホルダーによる運営委員会  
○ 経済、社会、環境、各活動の有機的なネットワーク化とプラットフォーム機能

**環境**

- 課題…里山里海の未利用による生物文化多様性の荒廃
- NPOや市民が珠洲市生物多様性地域連携保全活動計画を実践し、「能登SDGsラボ(仮)」による新たな教育プログラムを開発
  - 石川県立大学と連携する水産資源と発酵食文化の研究開発
  - 国連大学OUIKとの連携による地域の生物文化多様性への理解、里山イニシアティブの国際発信

**社会**



課題…加速する少子・高齢化による社会の停滞

- 金沢大学の「能登里山里海マイスター育成プログラム」と連携する課題解決型の人材づくり
- アジアの課題となっている若者の農業離れによる農村の荒廃を再生する国際連携
- 市内の公道で実証実験が行われている金沢大学の自動運転の社会実装化による「スマート福祉」の実現

社会面の相乗効果②  
課題解決型人材の育成により里山里海の多様な保全活動が展開

環境面の相乗効果②  
環境再生により自己啓発・社会意識の向上と女性や子供、障がい者など多様な参画が促進

